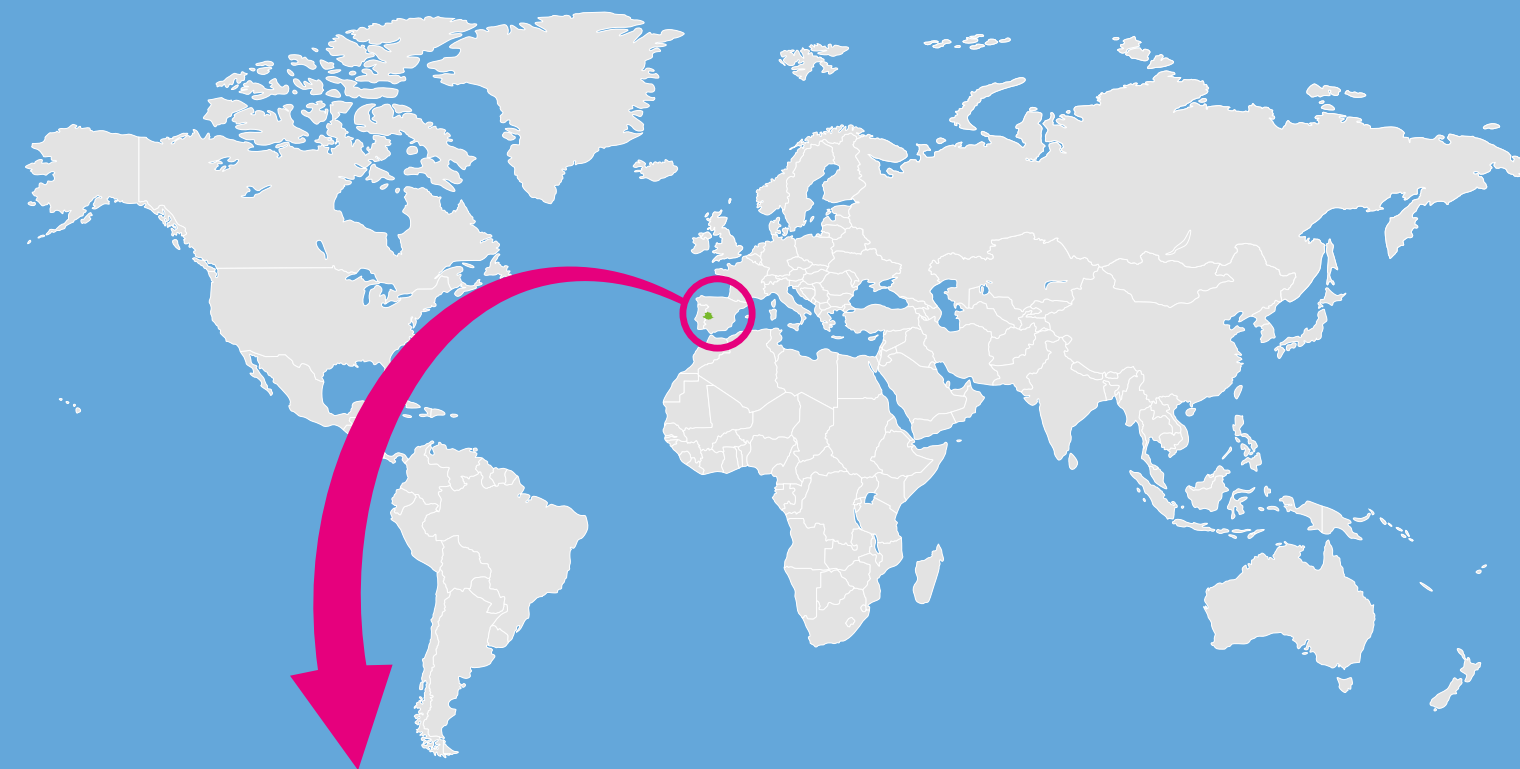


スペインのカセレス県は、西ヨーロッパのポルトガルとの国境の一部を形成しています。中国の北京市や日本の秋田市といった都市と同じく北緯 40 度付近に位置する地理的条件ながら、地中海や大西洋の湾流の影響により、この地域の気候は温暖で、冬の寒さも厳しくありません。日照時間は年間 300 日にものぼります。

このように気候が温暖で人口密度が低い (21 人 /km²) カセレスでは、自然が極めて良好な状態に保たれており、いわゆる地中海独特の森林が広がっています。国立公園 1 つ、ユネスコの指定を受けた生物圏保護区 2 つ、国際自然公園 1 つ、ユネスコの世界ジオパーク 1 つを擁する、非常に自然豊かな土地です。

こうした森林地帯では古くから牧畜が行われ、ブドウ畑やオリーブ畑が広がり、この土地の伝統料理にはなくてはならないイベリコ豚の生ハム、羊やヤギの乳を使ったチーズ、ワイン、オリーブオイル、ハチミツ、パプリカ、サクランボなどが生産されています。

国境の一部を成すこの土地には、1000 年以上にわたる歴史が刻まれており、タルテッソス人、ケルト人、古代ローマ人、西ゴート族、ヘブライ人、アラビア人の時代など、先史時代から有史時代にまで及ぶヨーロッパと地中海地域の古い歴史の数々が色濃く面影を残しています。こうした歴史の軌跡は、ユネスコの指定を受けた 2 つの世界遺産、1 つのヨーロッパ文化遺産、そして数々の歴史遺産を通してうかがい知ることができます。



DIPUTACIÓN DE CÁCERES
ÁREA DE DESARROLLO Y TURISMO SOSTENIBLE

www.turismocaceres.org

pgarcia@dip-caceres.es

rburdalo@dip-caceres.es



カセレス県

CÁCERES





サンタ・マリア・デル・グアディアナ立修道院、ユネスコ世界遺産



トルヒーリョの歴史的遺産



モンフラグエ国立公園と生物圏保護区

自然

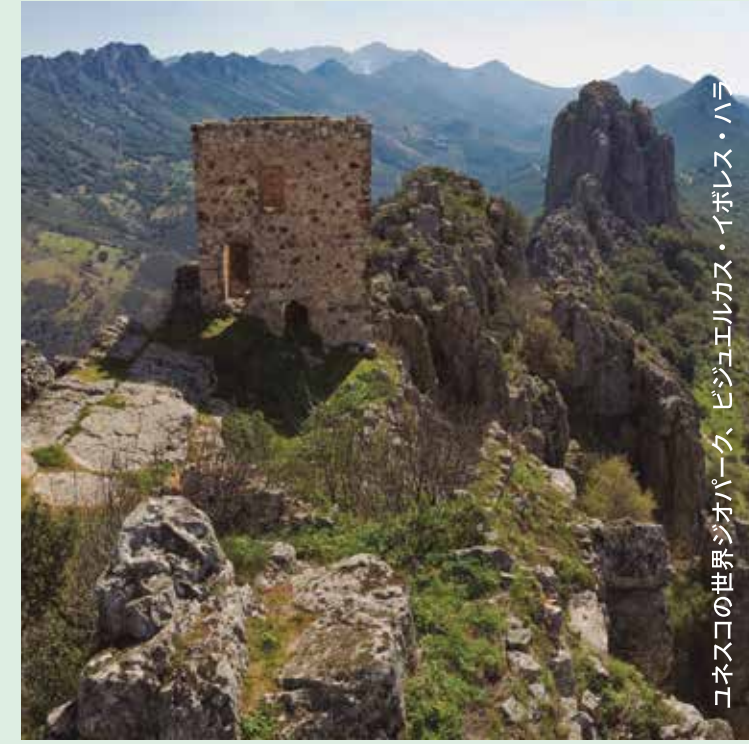


カセレス記念都市、ユネスコ世界遺産

文化



タホ国際自然公園と生物圏保護区



ユネスコの世界ジオパーク、ピジエルク・イボレス・ハラ



リベラ・デル・グアディアナ、ワイン

伝統料理



ハモン・イベリコ



羊やヤギの乳を使ったチーズ